



クスノキ



自律

人権

創造

豊中市立第十四中学校
学校だより
令和6年(2024年)
7月19日
発行責任:校長 石井 武

★1学期(1年72日、2・3年71日)の積み重ねを次につなげよう!

「成果」と「課題」を2学期に活かすために・・・

本日1学期終業の日を迎えました。大きな学校行事としては、3年修学旅行、2年宿泊体験学習、1年校外学習などが挙げられ、それぞれ成果と課題を確認してきたと思います。では、自分自身を振り返って1学期全体を通した成果と課題について、挙げることはできるでしょうか?



十四中全体としては、今年度から「自律・人権・創造」を新たな学校教育目標に定め、授業改善を中心とした新たな学校づくりを進めているところです。授業においても、学校生活全般においても、目標を明確にした取組みを大事に積み重ねている点は、大きな成果だといえます。

一方、課題としては、私は「人権」課題が一番大きいと感じています。仲間と支えあい、高めあい、豊かな心で人とつながる十四中生をめざしてほしいと願っていますが、お互いの人権を尊重しあえているでしょうか?本日受け取る通知表の中身とともに、みなさんが1学期に頑張れたこと、自分自身に対し

てほめてあげられることとともに、今後の課題として努力すべきことをぜひ振り返っておいてください。自分自身をしっかりと見つめ直すこと、それが必ず力となり、さらなる成長へとつながるはずです。

いよいよ明日から37日間の夏休みに入ります。1学期の成果と課題を2学期につなげ、もっともっと飛躍できるよう、有意義な夏休みにしてくださいね!また、何よりも大事なことは健康と命です。感染症や熱中症、そして水の事故などには細心の注意を払いましょう。そして、2学期始業式、8/26(月)にみなさんと元気な顔で再会できることを心から楽しみにしています!



★生徒会「クリーン作戦」&おやじの会「BBQ大会」、

有志約100名の参加で大いに盛り上がりました!

6月29日(土)10時30分に十四中生有志約100名が体育館前に集合し、おやじの会のみなさんと一緒に4つのグループに分かれて通学路のごみ拾いを行いました。ゴミばさみとゴミ袋を持って、道路や歩道に落ちているゴミ(空き缶・ペットボトル・吸い殻・お菓子の袋など)を拾い、地域の清掃活動に取り組みました。同じグループのメンバ





ーとお話ししながら、仲良く・楽しく地域を美しくすることができました。心もグリーンになって学校に帰ってきたら、素晴らしいご褒美が……

おやじの会のみなさんやPTA運営委員さんのご厚意で、大量の焼きそば・フランクフルトを、汗だくで調理していただいたり、かき氷をシャカシャカ作っていただいたり、清掃活動を頑張ったたくさんの生徒たちにふるまってくださいました。土曜日の取組みですので、有志やクラブ単位での参加となりますが、

生徒、保護者、地域、教職員が一体となった十四中の伝統ある素晴らしい行事だといえます。

朝早くから、準備していただいたおやじの会のみなさん、お手伝いいただいたPTA運営委員のみなさん、そして約100名の有志生徒のみなさん 本当にありがとうございました！

★十四中校区健全育成会「健全育成啓発標語」

158点のたくさんの応募～ありがとうございました！

今年度の「健全育成啓発標語」には、昨年より格段に多い158点もの応募がありました。多数のみなさんのご協力に感謝します。南館2階にすべての作品を掲示していますが、あいさつや仲間の大切さ、環境や人権問題、交通安全など幅広く作品が寄せられ、十四中生の意識の高さを再認識できました！優秀作品に選ばれたみなさん、おめでとうございます！



賞	学年・組	名前	作品
最優秀賞	3-3		自転車の 運転次第で 加害者に
優秀賞	1-3		あいさつは 一番大事な 愛言葉
佳作	2-2		「おはよう」と 答えてこころも 朝が来る
入選	1-1		大丈夫 あなたの前に 差し出す手
	2-2		ゴミ拾う あなたの心に 金メダル

★十四中生、がんばっています！PART3～クラブ表彰～

ハンドボール部	第55回中学校総合体育大会A 女子ハンドボールの部	第2位
陸上部	第70回全日本中学校通信陸上競技大会 OSAKA 女子中学共通 円盤投 24m57	第8位
卓球部	第77回豊中市民卓球大会 中学生 2部トーナメントの部	優勝
バドミントン部	豊能地区春季バドミントン大会 女子シングルの部	第3位



★本校教職員の異動のお知らせ



●5/9から英語科臨時講師としてご勤務いただいた、7/24をもって本校での勤務が終了となります。3年生の英語科授業や学年行事や取組み等に大変ご尽力いただきました。本当にありがとうございました。7/25からは、先生が復職されますので、よろしく願います。



●また、介助員としてご勤務いただいた先生は6月末をもって勤務終了となり、7/1から新たに先生が、2年生を中心に介助に関わる仕事をしていただいています。今後ともよろしく願います。

★保護者のみなさまへ・・・

●本日、無事1学期終業の日を迎えることができました。保護者のみなさまのあたたかいご理解、ご協力に心より感謝申し上げます。夏休み期間中も感染症や熱中症等に十分ご留意のうえ、安心・安全を第一に充実した日々をお過ごしくださいますようお願いいたします。



●夏休み中にお子様に関する緊急の連絡や相談がある場合は、学校の固定電話（06-6848-6403）にご連絡をお願いします。土日祝日や学校閉庁日（8/10~15）、平日夜間の時間帯は、双葉警備会社（06-6997-6098）にお電話ください。警備会社から校長に連絡が入りますので、対応させていただきます。

夏休み



★「平和」について考える夏に・・・

今から79年前、第2次世界大戦末期の沖縄戦では、住民を巻き込んだ激しい地上戦で20万人を超える人が犠牲になり、沖縄県民の4人に1人が命を落としました。6月23日、糸満市摩文仁の平和祈念公園では沖縄県主催の戦没者追悼式が開かれ、沖縄県立宮古高校3年の仲間友佐さん(18)が「平和の詩」を読み上げました。



8.6（広島）、8.9（長崎）、8.15（終戦）の記念日などを通して「平和について考える夏」にしましょう！

「これから」

仲間友佑

短い命を知ってか知らずか
蟬が懸命に鳴いている
冬を知らない叫びの中で
僕はまた天を仰いだ

あの日から七十九年の月日が
流れたという
今年十八になった僕の
祖母も戦後生まれた
それだけの時が
流れたというのに

あの日

短い命を知るはずもなく
少年少女たちは
誰かが始めた争いで
大きな未来とともに散って逝
た
大切な人は突然
誰かが始めた争いで
夏の初めにいなくなった
泣く我が子を殺すしかなかった
一家で死ぬしかなかった
誰かが始めた争いで
常緑の島は色を失くした

誰のための誰の戦争なのだろう
会いたい、帰りたい
話したい、笑いたい
そういくら繰り返そうと
誰かが始めた争いが
そのすべてを奪い去る

心に落ちた
暗い暗い闇はあの戦争の
副作用だ
微かな光さえも届かぬような
絶望すらもないような
怒りも嘆きも失くしてしまい
そんな深い深い奥底で
懸命に生きてくれた人々が
今日を創った
今日を繋ぎ留めた
両親の命も
僕の命も
友の命も
大切な君の命も
すべて

心に落ちた
あの戦争の副作用は
人々の口を固く閉ざした
まるで
戦争が悪いことだと
言っではいけないのだと
口止めするように
思い出したくもないほどの
あの惨劇がそうさせた

僕は再び天を仰いだ
抜けるような青空を
飛行機が横切る
僕にとってあれは
恐れおののくものではない
僕らは雨のように打ちつける
爆弾の怖さも
戦争の「せ」の字も知らない
けれど、常緑の平和を知ってい
る

あの日も 海は青く
同じように太陽が照りつけて
いた
そういう普遍の中にただ
平和が欠けることの怖さを
僕たちは知っている
人は過ちを繰り返すから
時は無情にも流れていくから
今日まで人々は
恒久の平和を祈り続けた
小さな島で起きた
あまりに大きすぎる悲しみを
手を繋ぐように
受け継いできた

それでも世界はまだ繰り返
して
七十九年の祈りでさえも
まだ足りないというのなら
それでも変わらないというの
なら
もっともっとこれからも
僕らが祈りを繋ぎ続けよう
限りない平和のために
僕ら自身のために
紡ぐ平和が
いつか世界のためになる
そう信じて

今年もこの六月二十三日を
平和のために生きている
その素晴らしさを噛みしめな
がら

